



徳島県立中央病院 患者支援センター  
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3  
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151  
FAX 0120(631)715  
mail: [chiiki@tph.gr.jp](mailto:chiiki@tph.gr.jp)

## 感染症科と感染症制御センターの紹介

徳島県立中央病院 感染症科 部長 山口普史

この数年、エボラ出血熱、ジカ熱、デング熱、中東呼吸器症候群（MERS）、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、鳥インフルエンザなどのさまざまな感染症がインターネットやテレビのニュースに取り上げられご覧になった方も多いと思います。

また、この原稿を執筆中のH30年4月27日現在、沖縄県で3月に台湾の旅行者から広がったとされる麻しんの流行がおこっている最中です。沖縄県の保健医療部衛生環境研究所のホームページ（4月27日更新）では沖縄県における麻しん患者発生状況は、4月26日の時点で75人にのぼっています。しかも大半の患者は0歳～30歳代の若年層でした。麻しんは古くから「はしか」と呼ばれる麻しんウイルスの感染によっておこるありふれた急性熱性発疹性の感染症でした。以前は幼少期にほとんどの人がかかっていたが、予防接種法に基づく麻しんワクチンの定期接種が昭和53年から開始となり（平成18年4月1日からは麻しん風しん混合（MR）ワクチンが定期接種に導入されました）、徐々に接種率が向上してきたため、麻しん患者が減少し、とうとう平成27年3月27日に世界保健機関（WHO）から日本は麻しん排除状態にあると認定されました。よって日本で発生する麻しんは、輸入麻しんまたは輸入麻しんから拡散した二次、さらに三次感染の患者さんと考えられます。麻しんにかかりやすい人はワクチン未接種かつ麻しんにかかったことのない人、ワクチンを1回しか接種していない人です。

このように一旦は封じ込めたかにみえたものの再び流行をみせている感染症を「再興感染症」といいます。また、近年になってはじめて認知され、局地的あるいは国際的に公衆衛生をおびやかす感染症を「新興感染症」といいます。エボラ出血熱、ジカ熱、MERS、SFTS、鳥インフルエンザなどが該当します。このように新手の病原微生物がいつどこから飛び込んでくるかわからないので当院も常に対策を講じておかなければなりません。

2017年の訪日外国人総数は前年比19.3%増の2,869万1千人（日本政府観光局推計値）と急増してきており、徳島県三好市によると、2017年、「祖谷のかずら橋」を訪れた外国人観光客は、5万4767人で、前の年より1万4000人余り、率にして36%増え、統計を取り始めた平成18年以降、最も多くなっているそうです。さらに平成30年1月21日から徳島阿波おどり空港 国際線新ターミナルの運用が開始となり、訪日外国人や海外渡航者が上記のような新興および再興感染症などを海外から直接持ち込む可能性がでてきました。

また、この数年、新規の抗菌薬の開発が停滞しているなかで、抗菌薬治療に難渋することが多い薬剤耐性（AMR；antimicrobial resistance）菌の増加が国内外で問題となっています。日本では平成28年4月5日に薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン2016-2020が発表されました。その中には6分野毎の目標・戦略・取り組みが設定されています（裏ページ 表1）。

このような状況のなか当院においては、感染症科と感染症制御センターが平成28年4月に設立されました。感染症科は平成29年7月から外来



を開始し、同年9月から入院診療も開始となりました。さらに従来からの感染制御チーム（ICT）活動に加えて、抗菌薬の適正使用を推進するために平成30年4月から抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動が開始となりました。感染症科外来においては、特に蚊・ダニ媒介感染症、人獣共通感染症、輸入感染症、各種ウイルス感染症患者のご紹介や院内感染対策についても随時相談を受けさせていただきます。よろしくお願いいたします。

表1 薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの6つの柱

分野	目標
1 普及啓発・教育	国民の薬剤耐性に関する知識や理解を深め、専門職等への教育・研修を推進する
2 動向調査・監視	薬剤耐性及び抗微生物剤の使用量を継続的に監視し、薬剤耐性の変化や拡大の予兆を適確に把握する
3 感染予防・管理	適切な感染予防・管理の実践により、薬剤耐性微生物の拡大を阻止する
4 抗微生物剤の適正使用	医療、畜水産等の分野における抗微生物剤の適正な使用を推進する
5 研究開発・創薬	薬剤耐性の研究や、薬剤耐性微生物に対する予防・診断・治療手段を確保するための研究開発を推進する
6 国際協力	国際的視野で多分野と協働し、薬剤耐性対策を推進する

## E-ナース院内研修のお知らせ



- ① 『一般病棟での人工呼吸器装着患者のケアに伴うME機器の理解』  
 講師：小山 昌利 氏（公立陶生病院 臨床工学技士）  
 日時：平成30年5月16日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2
- ② 『最新呼吸療法のエッセンスシリーズ～人工呼吸器離脱のプロトコルを利用した呼吸ケア戦略～』  
 講師：濱本 実也 氏（公立陶生病院 集中ケア認定看護師）  
 日時：平成30年6月6日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2
- ③ 『現場事例に基づく急変対応』  
 講師：石松 伸一 氏（聖路加国際病院 副院長）  
 日時：平成30年6月20日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

\* 院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

## 看護局 専門分野研修会のお知らせ

- ① 『心電図について』  
 担当：救急看護認定看護師 長井 貴司  
 日時：平成30年5月25日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 講堂
- ② 『高齢者ケアに求められるマインドとコミュニケーションの理解』  
 担当：救急看護認定看護師 長井 貴司  
 日時：平成30年6月8日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 講堂

\* 院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

## 糖尿病対策支援チーム主催 学習会

『糖尿病・肥満の病態・検査 / 糖尿病細小血管症』

講師：徳島大学病院糖尿病臨床研究開発センター 松久宗英先生、  
 徳島県立中央病院 糖尿病・代謝内科 部長 白神敦久

日時：平成30年6月14日（木）18:00～20:00 場所：徳島大学外来棟5階 日亜ホール White